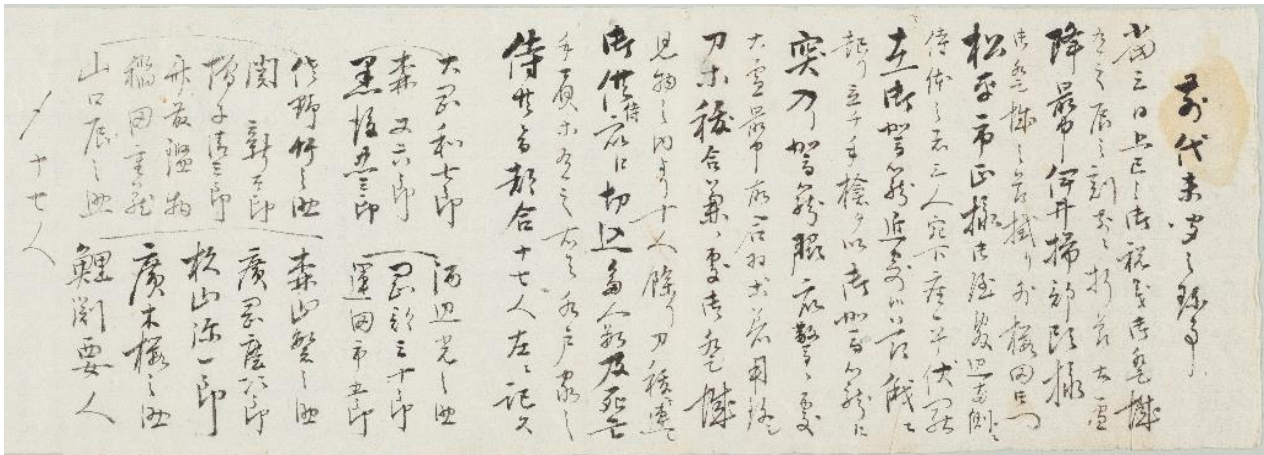


# 桜田門外の変 —幕末の転換点を紀州に伝える資料—

1860(万延元)年、江戸幕府の大老井伊直弼が暗殺された桜田門外の変は、幕府滅亡への転換点の一つとなりました。このような幕府の動向は、紀州にも風聞として伝わりました。現在の和歌山に残る資料から桜田門外の変に直面した当時の紀州の人々の受け止めについて見ていきます。

## 1 資料

【資料】 前代未聞之珍事（桜田門外の変につき） [\\* 資料全体のデジタル画像](#)



【翻刻】 [\\* 全文の翻刻](#)

前代未聞之珍事  
当三日上巳之御祝義御登城  
有之辰之刻前二折節大雪  
降最中伊井掃部頭様  
御登城之節掛り外桜田御門  
松平市正様御屋敷辺両側二  
侍体之者三人宛下座平伏罷  
在御駕籠近寄候節俄二  
起り立チ手槍ヲ以御駕籠江  
突入り駕籠脇衆驚候処  
大雪最中故合羽等着用致シ  
刀等抜合兼候処御登城  
見物之内より十人余り刀抜き連レ  
御供侍衆江切込多人数及死亡  
手負等有之右者水戸家之  
侍共二而都合十七人左二記ス

|       |       |
|-------|-------|
| 大岡和七郎 | 酒辺光之助 |
| 森又六郎  | 岡部三十郎 |
| 黒後忠三郎 | 蓮田市五郎 |
| 佐野竹之助 | 森山繁之助 |
| 関新太郎  | 廣岡慶次郎 |
| 増子清三郎 | 杉山弥一郎 |
| 斎藤鑑物  | 廣木松之助 |
| 稲田重蔵  | 鯉淵要人  |
| 山口辰之助 |       |

ベ十七人

【大意】 ※誤字を修正して記しています。 [\\* 全文の大意](#)

前代未聞の珍事  
今月三日、上巳の節句祝儀のご登城があり、午前九時前頃、大雪が降っている最中、井伊直弼様のご登城のとき、桜田門外松平親良様のお屋敷辺りの道の両側に侍風の者三人ずつ地面に座ってひれ伏していた。駕籠が近くにきたとき、にわかに起き立って、手槍をもって駕籠へ突入し、駕籠の脇にいた者たちは驚いたが、大雪のため、かっぱ等を着用していて刀等を抜けずにいたところへ、見物人の中から十人余りが刀を抜きお供の侍衆へ切り込み、多人数が死亡し、怪我を負った。襲撃したのは水戸家の侍どもであり、都合十七人、名を左に記す。

|       |        |
|-------|--------|
| 大関和七郎 | 海辺先之助  |
| 森五六郎  | 岡部三十郎  |
| 黒澤忠三郎 | 蓮田市五郎  |
| 佐野竹之助 | 森山繁之助  |
| 関鉄之助  | 廣岡子之次郎 |
| 増子傳三郎 | 杉山弥一郎  |
| 斎藤鑑物  | 廣木松之助  |
| 稲田重蔵  | 鯉淵要人   |
| 山口辰之助 |        |

しめて十七人

## 【語句】

- ・上巳<sup>じょうし</sup>…3月3日。この日は桃の節句ともよばれ、公式の祝儀の行事が行われていた。
- ・辰之刻<sup>たつのこく</sup>…午前7時から9時ごろ。江戸時代は、日の出と日の入りの時刻を基準とし昼夜をそれぞれ6分割し、合わせて12分割された時間に十二支の呼称を順に当てていた。
- ・掃部頭<sup>かもんのかみ</sup>、市正<sup>いちのかみ</sup>…官位の一つ。律令制では掃部頭は宮中の掃除等を司る掃部寮の長官、市正は市司<sup>いちのつかさ</sup>の長官だったが、江戸時代にはその武士の格式を表すのみ。ここではその官位を持つ人のことを指す。
- ・駕籠<sup>かご</sup>…人を乗せて人力で運ぶ乗り物のこと。

## 2 解説

### (1) 桜田門外の変

1854(安政元)年の開国直後の江戸幕府には、アメリカの総領事ハリスからの通商条約締結の圧力やこれを拒む朝廷との対立、将軍継嗣問題<sup>けいし</sup>などの課題が



出典：茨城県立図書館蔵（茨城県立歴史館保管）「桜田門外の変図」

ありました。1858(安政5)年、彦根藩主井伊直弼<sup>ひこね なおすけ</sup>が大老に就任し、これらの課題に対処しようとしていました。井伊は朝廷の条約調印の勅許<sup>ちよつきょ</sup>を得ないまま日米修好通商条約の調印を行い、孝明天皇の怒りと、一橋派の大名や尊王攘夷<sup>そんのうじょうい</sup>を唱える志士たちの反発を招きました。また、井伊は紀州藩主徳川慶福<sup>よしとみ いえもち</sup>を将軍の跡継ぎ(のちの14代将軍徳川家茂)に決定し、強硬な態度で反対派を抑え、その多数を処罰しました(安政の大獄<sup>たいごく</sup>)。

この弾圧に怒った水戸脱藩の志士らは、1860(万延元)年3月3日、井伊を江戸城桜田門外で暗殺しました。桜田門外の変により一部の幕閣による専制政治を進めてきた江戸幕府の権力は大きく動揺し、新たに老中に就任した安藤信正<sup>のぶまさ</sup>は、朝廷と幕府の協力による体制の安定をはかりました。

### (2) 新宮領主・水野忠央(1814~1865)

桜田門外の変後、新たな幕閣によって井伊に近い人物が処罰されました。紀州藩の付家老<sup>つけかろう</sup><sup>2</sup>で新宮領主の水野忠央<sup>ただなか</sup>は、1860(万延元)年6月に隠居を命じられ、以後新宮に留まりました。

桜田門外の変以前の水野は上昇志向の強い人物で、江戸定府<sup>じょうふ</sup>の立場を利用して妹を12代将軍徳川家慶<sup>いえよし</sup>の側室にさせ、大奥との関係を築いていました。将軍継嗣問題では、井伊と協力して慶福を跡継ぎにさせようとしていました。水野の大奥との関係の影響も少なからずあって、慶福が将軍の跡継ぎとなり、水野は慶福の養育や将軍就任への功績を賞されました。

### (3) 本資料について

本資料は、紀の川市(旧・粉河町<sup>こながわ</sup>)荒見<sup>あらみ</sup>の旧家に伝わった桜田門外の変の風聞を写し書きしたものです。表題の「前代未聞之珍事」や全文中の「御回輪之内生首ヲ提ケ血刀ヲ振まわし往来ス古今稀なる珍事」との記述から、当時の騒然とした様子や庶民の驚きがうかがえます。

また、井伊を襲撃した水戸脱藩の志士らの名前には、記述の誤りがあります。本資料は、江戸から得たとみられる情報を筆写したもので、そのときに誤りが生じたと考えられます。

本資料は、細部には誤りがありますが江戸での政治的な情報が紀州にも広がっていることから、幕末の庶民の政治的関心の高さや、幕末の情報伝達の精度がわかります。

1 13代将軍徳川家定<sup>いえさだ</sup>の跡継ぎをめぐる争い。詳しい内容は「[将軍継嗣問題](#)」シートを参照。

2 幕府から三家などに藩主の補佐・監督のために付けられた家老のこと。紀州藩では、新宮に水野家、田辺に安藤家が配された。特に水野家は、常に江戸に住まう江戸定府<sup>じょうふ</sup>であった。

### 3 活用のポイント

- **中学校社会〔歴史的分野〕の場合**

桜田門外の変について学ぶ際に、本資料と[「桜田門外之変図」\(茨城県立図書館デジタルライブラリー\)](#)を見比べて、記述の共通点と相違点を考える資料の読み取り活動ができます。

- **歴史総合の場合…A 歴史の扉 B 近代化と私たち**

A(2)歴史の特質と資料の授業の際に、本資料と教科書の記述を比べて、資料に基づいて歴史が叙述されていることに気付かせることができます。また、本資料の作成者やその意図、その他の資料とともに考察することによって資料を多面的・多角的に見ることができます。

B(2)結び付く世界と日本の開国の授業の導入時に「資料には「前代未聞の珍事」と記されているが、どういったことが前代未聞だったのだろうか？」と問いかけることで、生首を持って血のついた刀を振り回している騒然とした桜田門外発生時の様子を読み取る活動ができます。

さらに「桜田門外の変と欧米の市民革命のときの争乱の共通点や違いは何だろうか?」「桜田門外の変にはどのような意義があったのだろうか?」と問いかけ、欧米で起こったイギリスの革命やアメリカ独立革命、フランス革命といった市民革命による政治体制の転換と比較して、明治時代以降の流れを踏まえながら日本の近代化について考えることができます。

- **日本史探究の場合…D 近現代の地域・日本と世界**

D(1)近代への転換と歴史的環境で生徒たちが近代への転換について考察する際に「なぜ江戸幕府は滅亡したのだろうか?」「幕府が統治能力を失い、幕藩体制が崩壊した転換点はどこだろうか?」と問いかけ、桜田門外の変を転換点の一つと考えるときに本資料が活用できます。その他の転換点として第2次長州征討を取り上げ、大老井伊直弼ら一部の幕閣による専制政治を進めてきた幕府が強権で反対派を抑えられなくなった桜田門外の変と、幕府の軍事力を背景にした支配が困難となった第2次長州征討を比較し、近代への転換点について考えることができます。

### 4 出典

- ・当館所蔵 北一夫氏旧蔵北家文書 整理番号 ア-178「前代未聞之珍事(桜田門外の変につき)」  
※文書群の詳細については、[「北一夫氏旧蔵北家文書目録 解題」\(PDF\)](#)をご覧ください。

### 5 関連資料・ウェブサイト等

- ・[「桜田門外之変図」\(茨城県立図書館デジタルライブラリー\)](#)  
…井伊直弼を襲撃した蓮田市五郎によって描かれた桜田門外の変の様子を描いた絵図。
- ・[「大学入学共通テスト平成29年度試行調査日本史B」\(独立行政法人大学入試センター\)](#)  
…第5問に、桜田門外の変と第2次長州征討を取り上げて、江戸幕府滅亡の画期を考察する問題がある。
- ・『南紀徳川史 第3冊』…1901年に完成した紀州藩の歴史書。335~336頁に井伊直弼暗殺に関する記述がある。

### 6 参考文献

- ・和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史 近世』和歌山県、1990年
- ・新宮市史編さん委員会編『新宮市史』新宮市役所、1972年
- ・小山譽城『徳川将軍家と紀伊徳川家』清文堂出版、2011年